

関西大学 SDGs パートナー登録団体一覧（五十音順）※登録月別

2022年8月末時点

NO.	団体名	SDGs への取組概要	目指すゴール
1	関西 SDGs プラットフォーム 教育分科会 SDGs ナレッジラボ	学生が SDGs について学び、考える機会を提供するとともに、またそのプロセスにおいて学生が市民社会・企業等とパートナーシップを組み、活動を促進する働きかけを行います。そして関西地域全体における SDGs の浸透と達成に寄与することを目的とし、関西 SDGs ユースアクションを開催しています。関西 SDGs ユースアクション参加に向けて、学生が SDGs について学べるワークショップやイベントを開催します。	
2	株式会社NTTドコモ	食品ロス削減アプリ「ecobuy」の開発を行い、東京都の平成 29 年度『「持続可能な資源利用」に向けたモデル事業』に採択され、実証実験を実施しています。令和 2 年 1 1 月経済産業省の実証実験にも参加し、今年度 9 月に正式サービス開始予定です。	
3	株式会社三和工務店	社屋及び倉庫屋根上の太陽光発電により自家発電に取り組み、現場で使用材料も再生材を積極的に利用し環境に配慮した生産活動を行っています。また社会資本整備事業の実施により、地球にも人にも優しい企業を目指し、SDGs 達成に向け全社員で取り組んでいます。	
4	株式会社島津製作所	社は「科学技術で社会に貢献する」、経営理念「“人と地球の健康”への願いを実現する」を具現化しながら、創業以来、社会課題の解決を図ってきました。SDGs に対しては、社内リソースを踏まえて貢献できるゴールを定め、製品・技術による貢献と、自社内の事業活動による貢献の両側面から取り組んでいます。	
5	株式会社HAMONZ	Sports for Social という、スポーツを通して社会貢献活動を応援するメディアを展開しています。アスリートとのタイアップでの企業の社会貢献活動の紹介、NPO や Jリーグクラブなどの団体の活動の取材記事、ユーザーからの寄稿による個人の活動などをメディア掲載しています。	

6	株式会社ウィザス	2020年12月化学生命工学部上田教授の協力のもと、関西大学とのSDGs Eventを企画しました。(新型コロナウイルスのため直前で中止)その際のテーマが「14海の豊かさを守ろう」として上田教授のサンゴ再生技術について学ぶ企画を予定していました。今後は、同種のイベントのシリーズ化を検討していきます。	
7	株式会社学研プラス	「誰一人取り残さない」というSDGsの基本理念は、すべての人が心ゆたかに生きる世界の実現を目指す、学研グループの理念と重なります。その企業理念のもとEdTechによる教育サービス、スマート教育、モンテッソーリ教育、グローバル人材の育成、女性活躍推進事業を展開しています。持続的な塾・学研教室などの教育サービスの提供、リカレント教育、産学連携、女性の社会進出へ向けた取り組みの他、多世代が支え合いながら、地域の中で安心して暮らせる街づくり、『学研版地域包括ケアシステム』の実現などを図っております。	
8	堺市	堺市は、2018年6月、SDGs未来都市に大阪府内の自治体で初めて選定されました。SDGs未来都市として、国際社会の普遍的目標であるSDGsに貢献する視点に立ち、「堺市SDGs未来都市計画」を策定し、SDGs達成に向け取り組んでいます。また、令和3年5月26日に「さかいSDGs推進プラットフォーム」を設立し、会員同士がつながりながらSDGsに取り組み、地域課題の解決に向けた活動を行います。	
9	一般財団法人 日本品質保証機構 マネジメントシステム部門 SDGsプロジェクト	新サービス「JQA-SDGsステップアップメニュー」開始のお知らせ。当機構では、2021年6月より、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) 達成に向けて取り組まれる組織さまを支援するために、SDGsの導入支援から取組み診断、第三者認証までをトータルサポートする「JQA-SDGsステップアップメニュー」のご提供を開始いたします。 https://www.jqa.jp/service_list/management/topics/topics_ms_327.html	

10	レッドホースコーポレーション株式会社	小中高校生向けに校外学習の教育施設として、プログラミング等のデジタルコンテンツを体験頂いております。また、今年度より海外の日本語学校向けに REDEE の学習コンテンツを無料で学んで頂けるよう活動を行っております。	
11	株式会社ワークアカデミー	私たちは、教育サービスをコア事業とし、これまでSDGs をテーマとした探究学習の教材開発や、教育機関での出張授業、また各種ワークショップやイベント等、持続可能な社会の担い手を育成するための様々な取り組みを実施して参りました。また弊社を設立母体とする一般社団法人にて、中高生、学生を対象とした SDGs をテーマとした探究学習の成果発表の場として、「SDGs 探究 AWARDS」を設立。全国からSDGs 達成に向けた生徒・学生たち自身ができるアクションを表彰するコンテストを企画運営しています。	
12	ジューエルサイエンス株式会社	当社は、有害化学物質や水質検査、大気汚染物質の分析を行うための装置や消耗品を取り扱っており、それらの新規開発・製造・安定供給に取り組み、環境保全に貢献します。また、環境に配慮した資材調達、省エネルギー活動の推進、化学物質管理の徹底など、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきます。 近年は製造工程における環境負荷低減についても検討を進めています。	
13	法政大学 SDGs+ (プラス) プロジェクト	SDGs 科目群の設置やティフィケートプログラム実施。 SDGs オンライン人材育成プログラム実施 SDGs 実践知ゼミナール実施	
14	株式会社モリサワ	モリサワは、社会インフラのひとつであるフォントやサービスを通じて、情報やコミュニケーションの質を向上し、お客様の SDGs の取り組みに貢献します。具体的な取り組みとして、SDGs 目標 4「教育」に関連して「伝わる資料づくり」「伝わる情報発信」セミナー、ユニバーサルデザインの考えで作られた「UD フォント」研修会を自治体、学校向けに実施をしております。また、SDGs 目標 17 の「パートナーシップ」にも則り、情報やコミュニケーションの改善の面で協力・協業できるパートナーづくりにも努めています。	

<p>15</p> <p>キリンビバレッジ株式会社</p>	<p>【3.健康】 「プラズマ乳酸菌」等の健康価値を訴求した商品の開発・販売</p> <p>【12.つくる責任】 FSC 認証紙採用による資源の有効活用</p> <p>【14.海の豊かさ】 「R100 ボトル」の導入等による PET ボトル資源循環の推進</p> <p>【15.緑の豊かさ】 スリランカ紅茶農園へのレインフォレストアライアンス認証取得支援</p>	
<p>16</p> <p>一般社団法人 ボランティアプラットフォーム （ぼらぷら）</p>	<p>ぼらぷらは中学生・高校生・大学生・社会人と幅広い方を対象に、SDGs に関連する「オンライン SDGs 研修」「オンラインボランティア」「スキルアップ研修」「SDGs 小論文コンテスト」「渡航型海外ボランティア」「SDGs 導入コンサル」等のサービスを総合的に提供し、SDGs を推進するプラットフォーム型の NGO です。</p>	
<p>17</p> <p>エネラボ株式会社</p>	<p>当社はエナジーサプライ株式会社、岡山電力株式会社とグループとなります。</p> <p>再生可能エネルギー事業を現在推進しています。</p> <p>CO2 の出ない電気の供給を行っています。</p> <p>また、電気代の一部が社会貢献活動に繋がる電気のサービスも実施しています。</p>	
<p>18</p> <p>クリエイイトグループ クリエイイト株式会社 ダイドレ株式会社</p>	<p>企業理念「快適な住環境を提供し、豊かな暮らしづくりに貢献する」を実践することにより、社会のサステナビリティ（＝持続可能）な発展に貢献しています。ダイドレ社製 Tosk Remake Cover では従来のグレーチングカバーに代わる天然石を特殊樹脂で固めた透水化粧ふたを開発、広めることにより足元から安全・安心な街造りを目指しています。</p> <p>また関西大学×法政大学「SDGs アクションプランコンテストー持続可能な未来のために私たちができることー」へ協賛しています。</p> <p>その他「安全・安心で、働きがいのある働きやすい健康的な職場づくり」を掲げ各種施策を推進しています。</p>	
<p>19</p> <p>公益財団法人 太平洋人材交流センター(PREX)</p>	<p>途上国の発展を支える人材育成と、人材育成事業を通じた国際的な人材交流を目的に設立され 2020 年 4 月で 30 周年を迎えた PREX は、誰もが生き生きと暮ら</p>	

		<p>すことができる『持続可能な社会』を目指し、10年後にPREXが達成したい世界、目指す姿として「PREXビジョン2030」を策定しました。</p> <p>途上国の行政官や経営者、海外からの留学生や日本企業で働く外国人社員などを対象とする研修事業だけでなく、職員自身の働きがいのある職場づくりを通じた価値を提供し、関係団体と連携しながらSDGs達成に貢献します。</p> <p>※PREX内に2019年、SDGs推進チームを設置</p>	
<p>20</p>	<p>株式会社 Direct Stock Japan</p>	<p>弊社では、国内で古くなり需要の無くなった廃車予定のハイエースを買取し、それを必要としている東アフリカを中心とする発展途上国に輸出しています。途上国では日本から輸入したハイエースが主に乗り合いバスとしてリユースされており、市民のライフラインとして活躍しています。しかし、10年程前からインターネットの普及に伴って、日本国内の中古車の輸出業者が急増しており、過度の価格競争によって、故障を隠して粗悪車を輸出する業者も増えて来ています。輸出先の人々は当然返品が出来ません。しかも彼らにとって車一台は、人生を左右するほど大きな買い物であり、粗悪車をつかまされる事で、彼らの人生はとてつもなく大きなリスクを負う事になります。</p> <p>弊社では、他の輸出業者とは異なり、仕入れを業者間オークションで行うのではなく、国内のエンドユーザーから行っています。これにより状態の良いハイエースを適正な価格で輸出することが出来るようになり、その結果彼らのビジネスを間接的に支援することができていると考えています。</p> <p>しかしながら、これまでバイヤーからの大きなクレームは無いものの、実際に輸出したハイエースが具体的にどのような活躍をしているかを検証したことはありません。今後弊社におけるSDGsの取り組みをより良いものにするためにも、この検証が今後の課題と言えます。</p>	
<p>21</p>	<p>株式会社 日刊スポーツ新聞 西日本</p>	<p>日刊スポーツ新聞西日本は、「やりがいがある、この会社で働いて良かったと思える会社」を目指しています。また、会社のあるべき姿として「潤いのある生活、豊かな人生に、インターネット、新聞の情報発信を通じて社会に貢献できる会社」でありたいと願っています。それを実現するため、22年4月より、SDGsに取り組む企業を連載していく予定です。</p>	

			
22	株式会社 日立システムズ 関西支社	<p>これまで日立グループの一員として ICT 技術を活用したソリューションのご提供を通し、社会に貢献してきました。具体例としては、ICT 技術を活用した属人化業務の撤廃、業務標準化による持続可能なシステム環境の実現や、製品製造や在庫などの需要予測を通した製品廃棄ロスの削減などに取り組んできました。</p>	
23	株式会社コトラ	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い教育を提供 ・ジェンダー平等の実現 ・代替エネルギーを提供する企業にリーダー人材を紹介し、産業の活性化に貢献 ・働きがいを経済成長につなげる（専門性人材、若者への就業機会創出、雇用流動化に貢献） ・サステイナブル経営を推進する、SDGs のリーディングカンパニーにリーダー人材を紹介し、産業の活性化に貢献 	
24	近畿経済産業局	<p>企業・経済団体はもとより、市民団体・NGO/NPO、大学・研究機関、自治体等といった産官学民の多様なステークホルダーの連携による SDGs の目標達成に向けた取組の加速を目指し、2017 年 12 月に「関西 SDGs プラットフォーム」を設立。（共同事務局：国際協力機構 関西センター（JICA 関西）、近畿経済産業局、関西広域連合）</p> <p>関係機関と連携したシンポジウム、ワークショップ（ゴール別勉強会）等の各種イベントの実施、Web サイトの設置等の事業活動に取り組んでいます。</p> <p>なお、当局では特に「企業の取り組む SDGs」の促進を目的に、セミナー・ワークショップ等を開催しています。</p>	

25	株式会社テラモト	90年以上に渡り、環境美化に繋がる商材を展開しています。また、近年では、従来商品とIoTを組み合わせた、利用者・管理者の双方が快適になるような商品開発に日々取り組んでおります。	
26	株式会社 三井住友銀行	SDGs 万博と称される、2025年大阪・関西万博の成功にむけて、行内に特別プロジェクトチーム『関西成長戦略室』を設置。 SDGs 万博成功に向けたあらゆる挑戦を応援すべく、行内・グループ会社を挙げての支援体制を構築。	
27	株式会社 アーバンリサーチ	アパレル企業視点で個性を生かした独自の方針を設けSDGs 推進の取り組みを行っています。 2015年より、Green Down Project に参画し羽毛製品の回収やリサイクルダウンの製品化に取り組み、2018年には異業種協働で廃棄衣料のアップサイクルに取り組むブランド「commpost」を立ち上げました。2021年には、大阪府主催の「万博×環境 未来を描こうプロジェクト」と協同し、同プロジェクトの防災班ユースメンバーとともに「BOSAI FASHION LABO」を立ち上げました。	
28	株式会社 EXIDEA	EXIDEA では、サステナブルメディア「Ethical Choice」におけるエシカル消費の啓蒙によって、「つくる責任、つかう責任」の推進、気候変動情報の発信による「気候変動に具体的な対策を」の推進を行っています。 https://myethicalchoice.com/	
29	株式会社クラダシ	<ul style="list-style-type: none"> ・フードロス削減への賛同メーカーより協賛価格で提供を受けた商品を一般消費者へ販売し、売上の一部を社会貢献活動団体へと寄付する社会貢献型ショッピングサイトの運営 ・人手不足により未収穫残が発生している農家の支援 ・フードバンクへの食料品支援 	
30	株式会社アスエク	「世界の豊かさを底上げする」をミッションに、企業経営にサステナビリティを取り入れるアドバイザー業務を行なっている。企業の役員、経営企画室、社長室 CSR 室、IR・広報室と一緒に、目標 No.13 気候変動を中心とした具体的なサステナビリティ中長期目標、戦略・戦術策定に携わる。また、SDGs に対する海外の取り組み事例を中心に、自社メディアにて情報発信を行	

		い、日本社会全体のサステナビリティリテラシー向上を目指している。官民・教育分野の垣根を超えたエコシステム構築に今後取り組んでいきたい。	
31	株式会社日本旅行	観光業が将来にわたり持続可能な事業となるように「人」「風景」「文化」という観光資源の保全活動を行っている。中高生に対して修学旅行（教育旅行）を通したSDGsの学びの場の提供、ビーチクリーンなど環境保全活動、日本文化の継承のための観光コンテンツ開発や発信などが主な活動である。今後、気候変動対策の一環としてカーボンニュートラルツアーを全国に展開するなど観光を通して、社会課題の解決に寄与していきたい。	        
32	株式会社ユニオン	本年度より、SDGs社内プロジェクトを開始。当社のSDGsポリシーをまとめ、クレドカードに記載し、社員全員に共有しました。社員全員が主体性をもって、SDGsに向き合います。来年度は、計画目標の策定と、具体的な課題の洗い出し、スケジューリングを行います。	      
33	株式会社竹中工務店	弊社は、「まちづくり総合エンジニアリング企業」として、「人と自然をつなぐ」を環境メッセージに掲げ「環境との調和」に配慮し、「持続可能な建築・まちづくり」を目指しております。 参考 HP 『SDGs BOOKLET』 https://www.takenaka.co.jp/enviro/sdgsbooklet/ 『環境コンセプトブック』 https://www.takenaka.co.jp/enviro/feature/07/ 『森林グランドサイクル』 https://www.takenaka.co.jp/solution/needs/design/service23/index.html	      
34	協同組合 関西ファッション連合	「パートナーシップで廃棄削減に取り組む」をテーマに、会員企業のSDGsへの取組みを内外に発信し、他団体や自治体との連携で、廃棄削減の活動を広げる支援を行っている。また、有識者で選考する「KanFA SDGs AWARD」の運営や、福井県のSDGs支援コーディネーターを受託し福井産地企業の国際認証取得の支援等、関西の繊維産地との連携事業を進めている。	     

<p>35</p>	<p>ピープルポート株式会社</p>	<p>「環境問題」、「難民雇用問題」の解決を目指し、使用済パソコンの再生・販売事業により製造過程におけるCO2発生量・水使用量の削減と共に、難民雇用機会の創出に取り組んでいます。また、回収パソコンの台数に応じ、子供教育支援を行うNPO法人への寄付活動によりSDGs目標達成を目指しています。</p>	
<p>36</p>	<p>花王グループカスタマーマーケティング株式会社</p>	<p>花王グループ ESG 戦略を生活者・カスタマーへ広める活動を実践。 国内全ての事業場で「ISO9001」を取得、研究開発～マーケティング～生産～物流～販売に至るサプライチェーン全体での品質保証マネジメント体制を構築。従業員に対し、ディーセントワークを推進し、フレックスタイム制・産休育休制度等を推奨。活動より職場における安全・衛生管理、多様な人材活躍、女性活躍推進、多様な働き方促進、顧客に対する配慮、製品サービスを通じた社会課題の解決を推進。</p>	
<p>37</p>	<p>松蔭高等学校 Blue Earth Project</p>	<p>松蔭高校・Blue Earth Project では、2006 年度より、気候変動、生物多様性、資源循環と言った様々な環境問題をテーマに、女子高生ならではの発想力や発信力を生かして、女子高生にしかできないような楽しくおしゃれでスマートな解決アクションを自ら考え、多くの飲食店にキャンペーンの実施を協力依頼したり、大きな商業施設でエコ啓発イベントを実施して、SDGs 達成に向けて学校を上げて取り組んできた。</p>	
<p>38</p>	<p>Daigas エナジー株式会社</p>	<p>当社はお客さまの持続的な事業発展に貢献することをミッションとし、気候変動の問題にかかわる温室効果ガス（GHG）排出削減は重要課題の一つと考え、低・脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの利用拡大、最先端の技術開発やエネルギー機器の普及、LNG 利用普及等、様々な取り組みを進めています。また、年々増加の傾向にある自然災害時において、通常どおり機能することが求められるインフラの防災対策や早期復旧対策などに取り組み、レジリエンスの向上に努めています。</p>	
<p>39</p>	<p>株式会社マテックス</p>	<p>アパレル業界では衣料の廃棄が問題になっています。当社では縫製のあまり生地を紙に再生する取り組みを行っています。アパレルの街神戸からアパレルの廃材を活用した取り組みを、御校と共に広めたいと考えております。また廃生地にかかわらず企業・学校から出る廃材を混抄できるように事業構築。つくる責任・つかう責任を主に地球環境にやさしい企業を目指し取り組んでおります。</p>	

<p>40</p>	<p>リコージャパン株式会社</p>	<p>ESGの視点でのリコーグループの取り組み/実践事例</p> <p>【Environment】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品・サービス使用時のCO₂排出量削減(eco指数表示等) ・森林認証コピー用紙の活用(FSC認証用紙) ・製品・部品の回収リサイクルシステム(静脈物流の一括管理) ・「サステナブルプロダクツ」基準適合を目指したものづくり(自社認証) ・脱炭素ソリューションの提供(省エネ、創エネ、蓄エネ、BCP対策) ・省エネモデル事業所の展開(リコージャパン和歌山支社等) ・複合機の販売台数に応じた東南アジアでのマングローブの植林 <p>【Social】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフマネジメントの強化(新しい生活様式への対応) <ul style="list-style-type: none"> -Microsoft 365活用を中心としたデジタルワークプレイスおよび従業員間コミュニケーションの質維持の実現 -クラウドサービス活用による業務プロセスの電子化の実現 -AI/RPA活用による業務の省力化や自動化の実現 -ワークプレイス改革(弊社オフィス見学ツアーのご提案含む) ・文部科学省補助金を活用したITツール導入支援 ・アフターサービスの向上(保守体制、出力機器管理サポート) ・安全管理の強化(5S、危険箇所の抽出・改善、教育訓練) ・ものづくり工程改革(SCM構造改革、品質向上、ポカミス防止、AI/IoT活用による工程の自動化やデジタル化、3Dプリンター活用等) <ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ推進(女性活躍、自立型人材を助けるキャリア支援等) ・地方創生SDGsへの貢献(教育、ヘルスケア、まちづくり) <p>【Governance】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーポレートガバナンス体制の明示、内部統制の整備 ・災害対応(防災備蓄品管理、安否確認) ・コンプライアンス強化(CSRセルフチェック、eラーニングの実施等) ・情報セキュリティ強化(ISMS、認証印刷、モバイル管理、クリアデスク等) ・物流事故や製品事故の防止 	
<p>41</p>	<p>関西電力株式会社</p>	<p>当社グループが持続的な成長をとげるとともに、SDGs等のグローバルな社会課題の解決を通じて社会の持続的な発展に貢献することを目的に、10個のマテリアリティ(重要課題)を特定している。</p>	

42	吹田市下水道部	<p>下水道部では、「生活環境を改善する」、「まちを浸水から守る」、「身近な環境を守る」取組みを実施しています。生活に欠かすことのできない重要なインフラであり、持続可能な下水道を目指し、上記内容に取組むとともに、災害発生時においても業務を継続できるよう対策を進めています。</p> <p>また、近年、地球温暖化により豪雨の発生回数が増加するなど気候変動への対応も必要となることから、その取組みを検討しています。</p>	
43	株式会社 毛髪クリニックリ ープ21 (共育分科会 事務局)	<p>ヘチマたわしの利用により、マイクロプラスチックゴミ排出を削減する「ヘチマプロジェクト」を実践。ヘチマ栽培～実の収穫～たわし作製・利用を普及させるため、栽培協力、SDGsに関するプレゼン活動等を実施。</p> <p>現在、堺市教育委員会との連携が進んでおり、堺市内の公立小学校において、ヘチマ栽培～実の収穫～ヘチマたわし作りを予定。また、関西SDGsプラットフォーム公認「共育分科会」の事務局として、分科会会員団体と共に、SDGs活動に取り組んでいる。</p>	
44	株式会社 JTB	<p>【これまでのSDGsに関連したJTBの取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄本土復帰50周年記念「辻井伸行×読売日本交響楽団」演奏会に沖縄の高校生と看護師をご招待 ・ウクライナ情勢による避難者支援 ・SDGs・キャリア教育・探究学習の要素を盛り込んだ『ヨコハマ探究学習プログラム』を共同開発 ・修学旅行でSDGsを学び、カーボンオフセットを実現「CO2ゼロ旅行プログラム」発売 <p>【関西大学と協同予定の取組・活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会課題解決と地方創生に貢献する「地域交流事業」への学生参加 ・SDGs理解浸透を目的とした、JTB主催のセミナー実施 ・SDGsをテーマとした教育コンテンツの提供 	
45	株式会社 IKUSA	<p>2014年から発足したチャンバラ合戦イベントを通じて、興味のない方や親子向けに地域の歴史を知ってもらうきっかけを提供。(https://tyanbara.org/)</p> <p>2018年から発足したあそび防災プロジェクトを通じて、防災意識の低い方に対しても防災を自分事化してもらうイベントを提供。「あそび」×「社会課題解決」というこれまでになかった事業で、自治体様や施設様、企業様、学校様の防災意識の変容に貢献。(https://asobi-bosai.com/)</p> <p>自治体様や施設様、企業様、学校様のSDGsのはじめの一步を支援する「SDGsコンパス」を2022年5月にリリース。皆様が抱える課題を今後解決していく。</p>	

46	農林中央金庫	<p>弊金庫は「農林水産業と食と地域のくらしを支えるリーディングバンク」を目指し、グループ会社とともに「農林水産業の持続的発展」、「安心・安全な食料の安定供給」、「農山漁村地域の活性化」、「地域の多様性保全」、「農林水産業を通じた経済の発展」を中心としたSDGs各項目のテーマにも通じる取組みを進めております。これらの取組みを通じて、新たな産業創造と地域活性化に貢献して参りたいと考えております。</p>	
47	エファタ株式会社	<p>①子どもから大人までの教育、法律・税務に関する知識の提供 ②健康で働きやすい職場の実現 ③IT・WEBにおける環境負荷の軽減、ユニバーサルデザイン</p>	
48	株式会社Sumapla	<p>・お部屋検索のポータルサイトにて、日本で初めて賃貸物件のSDGs寄与度を評価し、公開する仕組みを構築しリリース。（特許出願中） https://www.sumapla.life/#/search/detail?estateID=12 ・上記のお部屋探しサイトの会員（入居希望者や賃貸オーナー）に対してSDGsの啓発を行い行動変容を促す。 ・自治体と連携し、SDGsイベント活動を実施 https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000015.000072845.html ・大学、専門学校などの教育機関と「次世代の人材育成を目的」として、ビジネススキルやSDGs活動について、講義やプロジェクト指導を実施。</p>	
49	堺市立 少林寺小学校	<p>「さかいSDGs推進プラットフォーム」会員として、堺市教育委員会の支援の下、取組みを進めている。「へちまたわし製作」「タクシー会社とのバリアフリー乗車体験」「塗装会社の余剰ペンキ活用」など地元・堺の企業や団体を中心に教育現場の連携を模索している。与謝野晶子出身校で「さかい利晶の杜」と児童短歌の掲示、与謝野晶子と平和学習も行っている。堺の歴史や文化を大切にしながら、持続可能な町の未来を小学生と共に考えていきたい。</p>	

50 NPO法人Blue Earth Project

NPO法人Blue Earth Projectでは、2011年度の団体発足時より、気候変動、資源循環、生物多様性と言った様々な環境問題をテーマに、女子大生ならではの発想力や発信力を生かして、環境省や自治体の協力を得ながら以下のような活動している。

1. Blue Earth 塾(これが団体の主たる事業です。) Blue Earth Projectの大学生が、全国の小中高生に向いて、自らの環境活動を語りつつ、エコアクションプランを立てるファシリテーションを行うワークショップ。札幌、東京、横浜、富山、神戸、広島、福岡、沖縄などで毎年500人の高校生に実施。このワークショップは、若者が若者に広めていく環境啓発活動の推奨例として環境省の公式ホームページで特集していただいたり、各メディアにも広く取り上げられている。
2. エコイベント (東京湾大感謝祭、新宿御苑グリーンチャレンジデイ等)
- 3 自治体との連携 (神戸市や札幌市の環境広報動画作成)
3. FM放送での発信 (FM大阪、FMムーヴ)
4. SNSでの発信 (インスタ、twitter、Facebook、YouTubeチャンネル)

